

## 県民の防災意識及び取組状況

兵庫県は、安全・安心な社会づくりに向けて、阪神・淡路大震災以降、総合的な防災や減災のための対策を推進していますが、近い将来の発生が確実視されている東南海、南海地震では強い揺れや津波が広範囲にわたって生じると予想されており、自分自身、家族、地域の人たちの命を守るためには日頃の備えが重要です。

このため、今後のさらなる防災・減災対策に役立てる目的で、県民の皆さんの災害に対する意見や地域における備えの現状について、昨年度に引き続き、県民モニターの皆さんのご意見をいただくことといたしました。

### (1) 県民のリスク認識

#### Q1【住んでいる地域に対する災害リスクの意識】

あなたが住んでいる地域は、災害（地震、津波、土砂災害、洪水等の自然災害）に対して安全だと思いますか。

- 安全
- まあ安全
- やや危険
- 危険
- わからない

#### Q2【県内の想定地震の認知状況】

あなたは、本県で大きな被害が想定される以下の地震名を聞いた事がありますか。聞いたことがあるものにチェックを入れてください。（複数回答可）

- 有馬 - 高槻断層帯から六甲・淡路島断層帯地震
- 山崎断層帯地震
- 中央構造線断層帯地震
- 日本海沿岸地震
- 東海・東南海・南海地震（南海トラフ巨大地震）

#### Q3【ハザードマップの認知状況】

あなたは、住んでいる地域の災害発生危険箇所を示したハザードマップをご覧になったことがありますか。

- 見て、実際に災害に備えて利用している。
- 見たことがあるが、あまり活用していない。
- 見たことはないが、言葉は知っている。
- 全く知らない。

Q 4 【防災情報の入手方法】

あなたは、防災に関する情報をどちらから入手されていますか。(複数回答可)

\*情報の例：気象情報(注意報、警報、台風情報等) 地震情報等

ひょうご防災ネット(<http://bosai.net/regist/>)

県、市町などの行政機関の広報誌やホームページ

新聞

テレビ、ラジオ

友人、知人や家族

地域の人(自治会長等)

その他

(2) 自助の課題への取組

Q 5 【家庭での防災の話し合い】

あなたの家では、災害に備え、普段からどのようなことについて、家族で話し合いをしていますか。(複数回答可)

住んでいる地域の避難場所・避難経路の確認

災害時の家族との安否確認・連絡方法

非常用食料、持ち出し品等の保管場所、使用方法

その他、災害発生時の行動、災害への備え等

していない

Q 6 【住宅耐震化の状況】

あなたの住宅は次のどれに該当しますか。

木造住宅(昭和56年以前に建築)《 Q6-2 へ》

同(昭和57年以降に建築)

鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅

その他(不明を含む)

Q6-2 前問で「木造住宅(昭和56年以前に建築)」と回答された方にお伺いします。あなたは、耐震診断又は耐震補強をしましたか。

耐震診断又は耐震補強をしている。

現時点ではしていないが、できればしたいと思っている。(下欄にしない理由を記入ください)

将来にわたってしない。(下欄にしない理由を記入ください)

Q 7 【家具転倒防止の状況】

あなたの家では、家具等の固定(転倒防止)をしていますか。

家具等の固定をしている。

現時点ではしていないが、できればしたいと思っている。(下欄にしない理由を記入ください)

将来にわたってしない。(下欄にしない理由を記入ください)

Q 8 【家庭での消火器の設置状況】

あなたの家では、消火器を設置していますか。

設置している。

以前設置していたが、現在は設置していない。

当初から設置していない。

Q 9 【個人用備蓄状況】

あなたの家では、災害に備えて、飲料水や食料品を備蓄していますか。

備蓄している。《 Q9-2 へ》

現時点ではしていないが、できればしたいと思っている。(下欄にしていない理由を記入ください)

将来にわたってしない。(下欄にしない理由を記入ください)

Q9-2 前問で「備蓄している」と回答された方にお伺いします。家庭での備蓄は何日分ですか。

1日分は、飲料水では一人3リットル、食料品では3食分を目安に、家族全員で何日分備蓄があるかお答えください。

飲料水を1日～2日分

食料品を1日～2日分

飲料水を3日分

食料品を3日分

飲料水を4日～7日分

食料品を4日～7日分

飲料水を8日以上

食料品を8日以上

( 3 ) 共助の課題への取組

Q10 【防災訓練への参加状況等】

あなたは、この1年以内に地域の防災訓練に参加したことがありますか。

参加したことがある。

参加したことはないが、機会があれば参加したい。(下欄に参加していない理由を記入ください)

今後も参加するつもりはない。(下欄に参加しない理由を記入ください)

Q11 【兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)】

あなたは、兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)をご存じですか。

すでに加入している。

内容は知っているが加入していない。(下欄に加入していない理由をご記入ください)

言葉は見聞きしたことはあるが、内容は知らない。

全く知らない。

#### ( 4 ) 防災力強化県民運動

##### Q12【県民運動の認知状況】

県民の防災意識のさらなる向上を図り地域の防災力を高めるため、平成 19 年度から、家庭や地域等を対象に「防災力強化県民運動」( 下記参照 ) を呼びかけています。あなたは、このことを知っていますか。

防災力強化県民運動

「ひょうご安全の日推進県民会議」が中心となって呼びかけ、県民、企業、学校等がそれぞれ生命、財産を守る行動を実践する県民運動。

( 具体的な実践例 )

・住宅の耐震化 ・家具の転倒防止 ・防災訓練 ・防災学習の推進  
すでに実践している。( 下欄に具体的な実践内容をご記入ください )  
内容も含め、知っている。

言葉は見聞きしたことはあるが、内容は知らない。

知らない。

具体的な実践内容

Q13 地域の防災リーダーが県民の会合( 自治会の防災訓練や学校行事等 ) へ防災に関する出前講座を行う「ひょうご防災特別推進員制度」( 下記参照 ) を利用したいと思いませんか。

ひょうご防災特別推進員制度

地域や学校、家庭における防災対策の実践活動を促進し、地域防災力の向上を図るため、防災対策に関する講義又は助言を行う者を登録し、派遣する制度。

思う。《 Q13-2 へ》

思わない。( 下欄に理由を記入ください )

Q13-2 前問で「思う」と回答された方にお伺いします。受けたい講義内容は、以下のどれですか( 複数回答可 )

家具の転倒防止

住宅の耐震化

県住宅再建共済制度

実践的な防災訓練の実施

阪神・淡路大震災の経験・教訓

その他( 下欄に具体的にご記入ください )

Q14 県民の自主的な防災活動を経費面で支援する「ひょうご安全の日推進事業助成制度」(下記参照)を知っていますか。

ひょうご安全の日推進事業助成制度

県民、民間団体等が主体的に企画する防災・減災に関する事業に対して、経費面での支援を行う制度。

内容も含め、知っている。

言葉は見聞きしたことがあるが、内容は知らない。

知らない。

Q15 津波や豪雨災害において人的被害を出さないよう、地域ぐるみで備える「“みんな”で逃げよう” 減災県民運動」を呼びかけています。安全に避難するために、あなたの地域で取り組まれていることは何ですか。(複数回答可)

フェンス、電柱等に海拔と津波高、避難場所の方向を表示

避難路沿道で倒壊の危険のある建物や豪雨時に土砂崩れの危険性のある地点の表示

津波や豪雨災害を想定した避難訓練の実施

災害時に要援護者となる方への支援体制づくり

避難したことを示す標識(シール等)の作成・配布

していない

その他(下欄に具体的にご記入ください)

Q16 災害が発生した時に、高齢者や障害者などの避難支援や安否確認が行えるよう、行政から自治会や自主防災組織などに、そうした方の名簿などの個人情報を提供することについて、あなたのお考えに近いものを選んでください。

救助や支援のためであれば、平時からあらかじめ提供してもよい

災害が発生してからなら提供してもよい

災害時であっても個人情報は提供するべきではない

わからない

Q17 その他防災全般に関するご意見、ご提案等があれば、自由に記入ください。